

# 「公民館的な手法で進める まちづくり、地域づくり」講座 ～県内の具体的な地域づくり実践から学ぶ～

信州の公民館の特色は、地域づくりについて学ぶ講座を開催するだけでなく、地域の住民や団体と協働して住民主体の地域づくりを支援してきたことにあります。本講座では、具体的な信頼関係を結び、どう支援してきたのか、地域づくりの本質に迫りました。

## 講義

### 信州の公民館の特色と住民が動く地域づくり

松本大学教授 白戸 洋 氏



〈受講者アンケートから〉

- ・ 専門家がプランを作り、地域住民に実行させるのではなく、地域でよく話し合い、案を練って、関係者や行政を動かしてこそ、価値あるものが実現できる。(一般)
- ・ 一人の熱意が周りを動かし、広がり、まちづくりへつながっていくことに感動した。共感する人が集まれば大きな力となって、やまちづくりにつながる。(国・県)
- ・ 地域づくりについて、改めて考え直すことができた。「暗い感情が学びのもととなること」のお話は「なるほど！確かにそうだ！」と共感した。(公民館)
- ・ なぜ地域が必要とされなくなったか原因や理由がととても分かりやすかった。「地域のため」ではなく「自分のため」という捉え方もとても参考になった。(公民館)

## 事例研究①

### 須坂市・地域に根づいた保健補導員活動

須坂市保健師 小林 澄子 氏



## 事例研究②

### 松本市・上土町のまちづくり

上土商店街振興組合副理事長 三村 晃 氏



〈受講者アンケートから〉

- ・ どちらの事例も長い歴史があり、解決すべき課題が徐々に変化する中で、地域住民が主体となって学び合い、取り組んでいく精神が根付いていた。(国・県)
- ・ 保健補導員の活動については今まで知らなかったため勉強になった。現代的な意義や他の活動への移行における工夫の仕方など示唆に富んでいた。(学校)
- ・ 上土の方はかなりうまくいっている事例だったが、午前の講義も含めて方法論も提示されている点はありがたかった。(学校)